

2019年度

事業報告書及びその附属明細書

自 2019年4月 1日

至 2020年3月31日

公益財団法人たかしん地域振興協力基金

## 【事業報告書】

### 1. 会議の開催状況

#### (1) 理事会

日 時	2019年 6月11日 (火) 11時00分～12時00分
場 所	高山信用金庫 本店 2階役員会議室
議 案	1. 平成30年度事業報告並びに附属明細書の件 2. 平成30年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の件 3. 2019年度助成案件承認の件 4. 2019年度第1回定時評議員会開催の日時及び場所並びに目的である事項等の件
報告事項	1. 代表理事及び専務理事の職務執行報告 2. 理事及び監事の任期満了について

日 時	2019年 7月17日 (水) 11時00分～12時00分
場 所	高山信用金庫 本店 2階役員会議室
議 案	1. 「代表理事の選定」の件 2. 「専務理事の選定」の件 3. 「常務理事の選定」の件

日 時	2020年 3月4日 (水) 11時00分～12時00分
場 所	高山信用金庫 本店 2階役員会議室
議 案	1. 助成応募要領の改訂の件 2. 2020年度助成案件の承認の件 3. 2020年度事業計画及び収支予算の承認の件
報告事項	1. 代表理事及び専務理事の職務執行報告

#### (2) 評議員会

日 時	2019年 6月24日 (月) 11時00分～12時00分
場 所	高山信用金庫 本店 2階役員会議室
議 案	1. 平成30年度事業報告並びに附属明細書の件 2. 平成30年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の件 3. 2019年度助成案件承認の件 4. 理事の任期満了による改選の件 5. 監事の任期満了による改選の件

日 時	2020年 3月4日 (水) 13時00分～14時00分
場 所	高山信用金庫 本店 2階役員会議室
議 案	1. 2020年度助成案件の承認の件 2. 2020年度事業計画及び収支予算の承認の件
報告事項	1. 代表理事及び専務理事の職務執行報告 2. 助成応募要領の改訂について

## 2. 事業の実施状況

2019年度の事業は、定款第4条に定める事業を対象として助成希望者の募集を行い、当財団の理事会に助成先の選考ならびに助成金額を諮り、評議員会の決定を経て下記のとおり事業を実施しました。

助成受付期間	平成30年 4月 1日から平成31年 2月28日
助成実施期間	2019年 4月 1日から2020年 3月31日
助成決定金額	16団体 225万円

飛騨地域の17団体から4, 485千円の助成申請があり、2019年6月開催の理事会及び2019年6月開催の評議委員会の審議を経て225万円の助成額が決定されました。

助成実施額 16団体 225万円

すべての事業が実施され、16団体に対し225万円の助成を実施しました。

### (1) 産業振興助成事業 (3件 40万円)

#### ① 力持小太郎火まつり実行委員会 (10万円)

祭りが始まった昭和54年当時の小坂町は、人口が4,800人を超え、木材産業を中心に街も活況を呈していましたが、その後は人口減少の影響を受け、現在は3,000人余りとなっており、先人たちの作った祭りを継続していくことが大変困難な状況となっている。この度の助成により、地域の住民や企業の従業員の方々が、お手伝いや櫓の担ぎ手として盛大に執り行えたことから、地域の活性化に大きく貢献することができた。

#### ② 協同組合飛騨木工連合会 (20万円)

2001年に協同組合飛騨木工連合会の創立50周年を記念して第1巻を発行して以来、今回の第4巻「新・飛騨の匠ものがたりIVの」を発行することができ、これまでと同様に匠関連で活躍する各訪問の皆様や教育関係者、図書

館や行政等々に贈呈させていただくことができた。「飛騨の匠」の1300年の歴史・文化の研究と文献を残すことができ、地域のブランドとしての「飛騨の匠」の基盤をさらに確立し、教育、木工や観光等の地域産業や文化振興に寄与することができた。

③ 御嶽山覚明霊神生誕300年祭実行委員会（10万円）

2019年は、覚明生誕300年という節目の年であることから、覚明行者に感謝し、その偉業を将来に亘って称え、御岳山及び下呂市の発展を期し記念イベントを実施することができた。イベントの実施に際しては、高山信用金庫、下呂市、飛騨小坂観光協会、小坂町商工会、NPO法人飛騨小坂200滝、飛騨御岳山溶岩流ジオパーク推進協議会、その他の関係者の尊いご浄財により事業を推進することができた。

(2) 地域の社会生活環境の整備に関する助成事業（4件 60万円）

① 江名子小学校創立70周年実行委員会（10万円）

江名子小学校の創立70周年事業として、老朽化が進んだ藤棚の改修を行うことで、通学での児童の安全確保と、地域の景観の維持を行うことで、地域の社会生活の環境整備を実施することができた。

② 江馬区（江馬区グランドゴルフ同好会）（20万円）

道の駅スカイドーム・神岡の駐車場拡張に伴い、グランドゴルフ場の移転を余儀なくされ、近隣に新たに建設することができた。従来はグランドゴルフ場としての機能しかなかったが、新たに建設した広場は、江馬区の住民以外の住民も利用できる施設として地域の重要なコミュニケーションの場として開場することができた。

③ 一般社団法人飛騨市観光協会（20万円）

当日は多くの市民の方に参加していただき、特に吉城高校生が15名参加、斐太高校生が2名参加していただいた。飛騨市内でまちづくり運動をしている方から励みになったとの感想をいただいた。飛騨市古川町の話を通じて各地の取り組みなどをわかりやすく話された基調講演や研究発表は好評を得た。パネルディスカッションも時間が足りなくなり、詳細に討論できなかったが、今までと違い、これからのまちづくりについての前向きな話題だったので、会員からの高評価を得られたことは今後の町並みゼミの在り方に一石を投じた形となったと思われ、大成功で終わることができた。

④ 市民団体 co-mammy（10万円）

子育て中の母親の悩みなどは個々に違うものの、その悩みを解決するコミュニティが少ない現状において、母親が個々の悩みなどを相談する相手を発見するためのコミュニティの場を提供できたことは意義が大きい。今回の子育てを行う母親のためのコミュニティを通じて、子育てをしやすい環境を提供し、

高山で子育てをすることが楽しいと感じ、地域の元気にも波及するような地域貢献ができた。

(3) 文化・スポーツ等にする助成事業（9件 125万円）

① 公益財団法人日下部民芸館（15万円）

下呂市出身の義足のダンサー「大前光一」さんのダンスパフォーマンスを日下部民芸館で行った。会場満員の中、大前さんのダンスで空間を存分に活かした演出で観客を魅了し大好評を得た。また、ゲストに地元の演奏者を加え、演出や舞台設営にも地元及び地元出身者の方々の協力を得て、高山でしかできない舞台を作ることができた。今回のイベントで、飛騨出身の優れた才能を紹介することができ、また日下部民芸館という地域の文化財の新たな魅力や価値を改めて知っていただき、飛騨という地域に根差した文化芸術が広がっていくことに貢献したいという企画の意図を達成できた。

② 観世流謡曲 藤橋会（10万円）

神岡町で昭和の初めころより謡曲同好会の方たちに謡いつがれてきた観世流謡曲「藤橋」は、人間国宝の能楽師の野村四郎氏によって平成18年に作能・講演をしていただいたものであり、数年前より神岡の会員だけでは維持できなくなり、古川町の謡曲会の方たちと共催してきた。今回の助成により飛騨の貴重な文化として末永く継承していくため講演会を開催したところ、200名程度の来場者があり、地域の方々に幅広く文化を継承していく場として再認識していただくことができた。

③ 片野町敬神会（10万円）

片野町敬神会では、郷土伝承芸能「鬮鶏楽」を片野町の誇りとして継承してきたが、鉦（かね）、撞木（木づち）、衣装等が破損や劣化をしていたとこと、今回の助成により衣装等の新調や修復を行うことができ、鬮鶏楽が今後も祭りのお囃子の主役として色鮮やかな祭りの舞踊を伝承・発展させていくことが可能となった。

④ 麒麟台組（10万円）

平成30年の古川祭りより、麒麟台組の女子を屋台に乗せることとなったが、若連中の法被の破損及び不足分が課題となっていた。助成金を受けて今回、新調したところ、若連中の取り組み意欲にも好影響を与えることができた。また、長年の風雨により、額提灯の屋根が破れていたため、雨に強いものに張り替える必要があったところ、今回の張替えによって例祭における神事の催行も立派に行うことができた。

⑤ 高山・デンバー友好協会（20万円）

2020年度の高山市・デンバー氏の姉妹都市提携60周年記念事業の一環として、現地屋台模型の曳き回しを実施するため、高山工業高校と連携し、屋

台模型を修復することができた。これによって、特に若い世代への友好交流及び伝統文化継承を図ることができた。

⑥ 廣田俊司ピアノリサイタル実行委員会（15万円）

高山出身の世界的なピアニスト廣田俊司氏を招聘し、高山市民文化会館大ホールにおいてピアノリサイタルを開催することができた。また、市内の中学校や小学校において、ピアノを学ぶすべての人を対象とした無料公開レッスンの場を設け、プロの指導を受けることや公聴できることでピアノの演奏技術や意識の向上を図ることができた。

⑦ 飛騨高山千人の第九実行委員会（10万円）

飛騨・世界生活文化センターにおいて、来場者1280名をお迎えし、「飛騨高山千人の第九演奏会」を盛大に開催することができた。この事業によって、飛騨地域において、音楽を通じた芸術や文化の振興に貢献することができた。

⑧ こどもゆめ事業実行委員会（15万円）

「高山音頭」「飛騨やんさ」などの飛騨地域の代表的な民謡を小学生や中学生を含めた地元の方々へ発表したことにより、将来を担う子供たちへの伝承と普及に努めることができた。また、進学等によって子供たちが故郷を離れても飛騨地域の民謡を記憶にとどめてくれることが期待できる。

⑨ 高山ユネスコ協会（20万円）

平成28年12月に高山祭の屋台行事を含む全国の「山・鉾・屋台行事」が国連教育科学文化機関（ユネスコ）の無形文化遺産に登録され、高山市も一層世界から注目を集めることとなったが、これから文化財等を観光資源として維持・保存することが課題となっているところ、日本ユネスコ協会の副会長の野口昇先生をお招きして講演会を行えたことは非常に意義があった。講演会を踏まえ、高山市に限らず文化財等の保存継承を通じて、地域の発展とともに世界の平和に貢献して行くことの大切さを共有することができた。

**【事業報告の附属明細書】**

2019年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書に記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、これを作成しない。